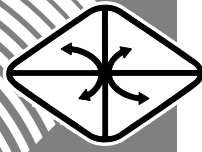
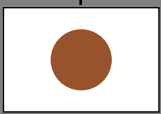
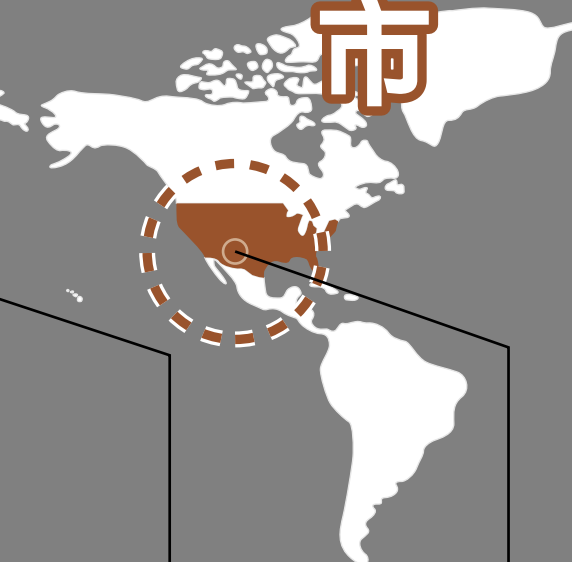


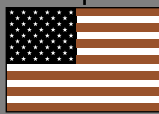
# 世界地方都市 十字路会議



第12回



日本  
高山市、津和野町、津山市



アメリカ  
サンタフェ市

## 景観保護区の建物は

### サンタフェ 様式で統一

#### サンタフェ市

(ラリー・デルガド市長)

サンタフェ市はロッキー山脈のふもとにあり、ネイティブ・アメリカン文化、スペイン文化、開拓民文化の3つが見事に融合した美しいまち。観光産業が市の総収入の4割を占めています。1957年には歴史的様式条例をつくり、歴史的景観保護区の建物をすべてサンタフェ様式で統一しています。サンタフェ様式は、角が丸みを帯び、化粧しつくない仕上げの外観など、ネイティブ・アメリカンとスペインの建築技術が溶け合ったすばらしい技術です。

現在、保護区は5つ。市の面積の2割を占め、6、000以上の建物が対象となっています。

サンタフェのまちは100年前と同じ様相を呈しています。決まりを作ることで歴史を失わず、魅力的なまちにしています。

## 歴史的価値のあるものの 特徴を活かしたまちづくり

### ライデン市

(ヘンリー・レンフリック市長)

ライデン市は、オランダの西部ライン川の支流に沿って開けたまちです。16世紀のまちの形が今も続いています。市内で最も古い城は1、000年の歴史を持ち、私が仕事をしている市



ステファン ビュフェト 副市長



ヘンリー・レンフリック市長



ラリー・デルガド市長

庁舎は16世紀の建物です。かつては、保存より近代化を、建築の質より機能性を重視した時期があり、美しい建物が道路を作るために取り壊されたこともありましたが、しかし現在では、文化的な資産こそが重要で、歴史的価値を持つものの特徴を活かしてまちづくりをしていくことが目標になっています。

近年、新しい商店街や大きなコンサートホールも造りましたが、新しいものを作るのと考えるとき、昔ながらの雰囲気を保つたものを作ると考えました。歴史的雰囲気を損なわないよう調和にも気を配っています。祭りや歴史的なイベントをするので、さらにまち

の魅力を押上げ、歴史都市ライデンは活気あるまちになろうとしています。

## 歴史・芸術的遺産は 社会的開発のチ ンス

### ベルサイユ市

(ステファン・ビュフェト 副市長)

ベルサイユ市はパリの南西にあり、まちの中心には世界遺産に登録されたベルサイユ宮殿があります。ベルサイユで力を入れている分野は、観光産業とハイテク企業の誘致です。

観光面での課題は、パリに近いこともあり、宮殿だけ見たら帰ってしまう日帰りの観光客が多いことでした。観光客に滞在してもらうため、ゆっくりとショッピングが楽しめる、夏場は開放されたレストランになる歩行者天国を作りました。乗馬ショーや芝居などのイベントも取り入れ、広報活動にも力を入れています。もう1つの課題は、ベルサイユの名前・利便性を売りにながらサービス業やハイテク企業を誘致すること。ベルサイユは、単に歴史を振り返るだけでなく、今や新しく生き生きとした活力のある場所になっています。